

関西理学療法学会 一日研修会 デイセミナー第2講
『上肢の運動器疾患における評価とアプローチ』

喜馬病院リハビリテーション部
井尻朋人 白井孝尚

本セミナーでは、上肢のトップダウンアプローチを中心に、臨床実践における効果的なプロセスが確立できるよう、講義をすすめます。患者への問診から動作観察を開始し、問題点の仮説構築、評価、治療、再評価という一連の流れを体系的に解説します。症例データを活用し、実際の流れに沿って動作分析や問題点の抽出、仮説検証のプロセスを具体的に解説することで、臨床現場で直面する課題に対応できるよう、進めていきます。セミナーの前半では、特に各プロセスにおける注意点について細かく説明します。セミナーの後半では、結帯動作の正常動作を理解しながら、異常動作と代償動作について考える機会とします。本セミナーを通じて、受講者が患者に対して個別化された治療を提供できるよう、臨床推論スキルの向上を目指します。